

第 23 回茅野市新地域公共交通検討会議

開催日時	令和 5 年 3 月 9 日 (木) 午後 6 時 30 分から午後 7 時 20 分		
開催場所	茅野市役所 8 階大ホール		
公開・非公開の別	公開・非公開	傍聴者の数	3 人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容 (概要)		
事務局	<p>第 23 回茅野市新地域公共交通検討会議を開催。詳細は下記のとおりです。</p> <p>1 開会</p> <p>みなさまこんばんは。一日のお疲れのところ、お集まりいただきありがとうございます。</p> <p>定刻となりましたので、只今から、第 23 回茅野市新地域公共交通検討会議を開催いたします。</p> <p>本会議は、新型コロナウイルスの感染防止対策をしたうえで、スムーズな進行に努めさせていただきますので、ご理解ご協力をお願いいたします。</p> <p>はじめに、会長挨拶、篠原会長お願いします。</p>		
会長	<p>2 会長あいさつ</p> <p>本日もよろしく願いいたします。なるべく迅速に会議を進めてまいりたいと思います。ここまで会議を重ねてくるとのらぎあの課題も明確になってまいりました。現在は運行データの分析を進めているところがございます。本年は、統一地方選挙の年でありますので、市長さん、議員の皆様も実際に地域の皆様のご意見を伺う機会が増えてくると思います。そのようなことを考慮させていただき、選挙が終わった後で次回の会議を開催したいと思います。皆様のそれぞれの立場でご意見をよろしく願いいたします。</p>		
事務局	<p>ありがとうございました。このあと、3の報告事項等に入ります。項目としては、</p> <p>(1) 別荘地・観光地の公共交通について</p> <p>(2) 高齢者割引の年齢設定及び中学生割引について</p> <p>(3) AI 乗合オンデマンド交通「のらぎあ」の運行について</p> <p>①運行状況等について</p> <p>(4) 通学通勤バスの運行について</p> <p>①運行状況についてです。</p> <p>それでは、篠原会長、議事進行、よろしく願いいたします。</p>		
会長	<p>3 報告事項等</p> <p>それでは報告事項等に入ります。はじめに、(1) 別荘地・観光地の公共交通について事務局から説明をお願いします。</p>		
事務局	<p>まず、それぞれの別荘地・観光地部会の担当者から説明をさせていただきます。資料 1 についてそれぞれ説明。用語の説明については、資料の後段の参考をご確認ください。</p>		

委員	<p>本来であれば部長である蓼科ビレッジの両角から説明を差し上げるところですが、所用で欠席のため、山田から説明させていただきます。当該別荘地部会は5、6年前から公共問題に関して他地域の視察や別荘地内の交通に関する検討を行う中で突破口が見えない状況です。そうした中、のらぎあエリア拡大に代わる検討を進めていました。そうしたところ、昨年末に、私の尊敬する先輩から許可・登録を受けずに行う移動手段があるということを教えていただきました。そんなことを聞いてこれまで検討を進めてまいりました。ただ、道路運送法上の許可・登録の中で、安全確保の部分が非常にグレーであるということが分かりました。一方で、グレーであるとはいえ、利用者の安全確保は必須であると考えています。本来であれば、登録をするなり許可をするといった手続きを踏んでいくことが望ましいわけですので、引き続き検討を進めていきたいと思えます。また、過去に検討をしていた自家用有償旅客運送についても、引き続き検討を進めていく必要があるということでもう少し時間をかけて議論していきたいと思えます。自家用有償旅客運送に関しては組織の立ち上げなど、一定程度の時間を要することになると思えます。将来的には別荘エリアでの輸送とのらぎあエリアとのドッキングを目指していきたいと考えています。関係者の皆様にはご意見等をいただき誠にありがとうございます。もう少しお時間をかけて行っていきたいと考えております。よろしく願いいたします。</p>
委員	<p>観光協会の部会長として話をさせていただきます。特段話を進めているわけではありませんが、個々の観光事業者とは多少の検討をさせていただいております。蓼科旅館組合で保有している送迎バスについて、それを具体化し、環境にやさしい観光地を目指していきたいと思えます。それを住民の足としていかしていけないかということも検討しています。協会長であります親湯の代表者とも話をしております。一方で、観光地の中に住まわれている方や従業員の方の足でもあったバスが減ることになっている現状もあると思えます。白樺湖や蓼科湖に住んでいる方や区長さん等の声をもう一度聞いていく中で理想的な交通の在り方に関する意見を集約していくことも大事ななと思っています。道路の活性化についても周遊バスや飲み歩きもできる観光地の活性化に向けた戦略的なバスも必要であると思えます。我々としては観光地のバスと住民の足を確保するためのバスという両面で考えていきたいと思えます。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p>
会長	<p>ご質問があればお願いします。茅野市の3万5千世帯の中の1万世帯は別荘地にあります。そうした中でご意見を伺う中で進めていく必要があると思えます。今後とも皆様からのご意見の方、よろしく願いいたします。</p>
全委員 会長	<p>特になし。 次に②高齢者割引の年齢設定及び中学生割引について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>別紙資料1に基づき説明。高齢者割引の対象年齢を75歳以上から65</p>

	<p>歳以上に変更。中学生についても大人の運賃の半額としていきたい旨説明。</p>
会長	<p>ご質問があればお願いします。</p>
全委員	<p>特になし。</p>
会長	<p>次に③AI 乗合オンデマンド交通「のらぎあ」の運行状況等について、運行支援をしている株式会社地域総合計画から、検証結果および今後の見通し等ご意見をお願いします。</p>
地域総合計画担当者	<p>別紙資料 1 に基づき説明。のらぎあの利用状況について説明。 徐々に利用している方も増えてきている。今回新たに予約の不成立件数を記載している旨説明。2 月末時点で、約 2000 件ということで約 15%、月に 100 件程度の不成立が発生している旨説明。利用者についても 6000 人増えている旨説明。乗合率も高まってきていると説明。2 月でいえば約 47%となっています。 また、運行の遅延の状況についても説明。遅延については 4000 件程度発生している。1 月以降では 15 分以上の遅延は発生していない状況です。時間帯についても午前中から午後 2 時までが多くの方に利用されているという状況でした。これまでと大きな変化はありませんでした。 上記のとおりのとらぎあの利用状況について報告。</p>
会長	<p>ご質問があればお願いします。</p>
委員	<p>約 15%の予約不成立の原因はわかりますか。</p>
事務局	<p>予約の不成立の要件については、8 台の運行で乗れない方がいるためです。乗合という形式をとっている中で、8 台では乗れないような状況になっているため、状況の分析を行い、どのようにすれば予約不成立がなくなるのか、より多くのお客様が乗れるようになるのか検証しているところです。</p>
委員	<p>予約者からの不満も多いのではないかと。</p>
事務局	<p>予約が取れないというご相談は増えてきている状況でございます。</p>
事務局	<p>おひとりの方がその時間の予約は取れませんということになった場合、その前後の時間でも予約が取れなければキャンセルにするという形式を取っていますので、1 人の方が何回もキャンセルを行っているケースもございます。これまでの遅延の部分についても設定を変えたりする中で工夫をしてくれています。待ち時間を 20 分から 10 分にしてみたり、乗合に要する時間設定を長くしたりしています。そうしたことで得たデータを踏まえながら、微調整を行っていきたいと思います。加えて、最近までは、降雪がある期間であったので、速度制限を行っていました。これから、夏場を迎える中でそのあたりの速度制限の調整を行ってまいります。</p>

会長	他にございますか。
委員	3 ページの表の見方ですが、期間計という数値はどのような数値でしょうか。
地域総合計画担当者	7 か月間に 50 回以上利用した方の数字を記載しています。
委員	9 月は 1 か月で 50 回以上乗った人がいるということか。
地域総合計画担当者	そのとおりです。9 月は 51 回乗った方が 1 名いたということになります。
委員	20 歳未満の方のアプリの利用が吐出していると思いますが、20 未満の方の内訳でさらに詳しい分析をしているのでしょうか。
地域総合計画担当者	現時点では、実施しておりません。
委員	できれば、この表とは別に 20 未満の方の更なる分析を行っていただきたいと思います。
地域総合計画担当者	生年月日での登録を利用者をお願いしているため、年齢別の分析は可能です。一方で、登録時の年齢ということになると、どこかで線を引かなくてはいけないと思います。そこはご留意いただきたいと思います。
委員	やはり冬場は道路状況によって運行の仕方が違うと思いますので、車両自体の遅延の影響で予約が取れないということだと思います。狭い道路における雪の残り具合によって遅延は発生すると思います。そうした状況が発生することで、相乗りのマッチングもなかなかできないと思います。そうした悪循環が発生し、予約が取れない状況へとつながっていきます。ただ、車両については、むやみに増やすということではなく、まずは乗合率を高めるための分析を行って、トライ&エラーの中で進めていきたいと思っています。
委員	一般道を走る中の速度を 20 キロから上げていく必要はあると思います。また、乗合率を高めるための各機能における調整ポイントを探っている状況でございます。
委員	速度については、ドライバーが休めない状況もありましたので、休憩時間等を加味する中で、不成立も増えてきていると思います。
市長	のらぎあを開始した当初はご利用の方の苦情も多かったですが、だんだん乗る人も運転する人も慣れてきたのかなと思います。最近クレームも減ってきている状況でございます。直近のご意見としましては、運行範囲の拡大について非常に多い状況でございます。それについてもト

	<p>ライ&エラーを繰り返しながら模索していきたいと考えております。これからは、市民全員でよりいい仕組みを作っていかななくてはならないと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
会長	<p>次に、(4) 通学通勤バスの運行状況について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>別紙資料 2 に基づき説明。利用者についても非常に多くの方が利用していると説明。3 月については、学校が休みの時期ということで少し利用者が減る見込みですが、引き続き周知活動を行っていききたいと思います。</p>
会長	<p>ご質問があればお願いします。</p>
全委員	<p>特になし。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p>
会長	<p>4 その他 事務局から連絡事項等があればお願いします。</p>
事務局	<p>次回の検討会議でございますが、5 月に開催する方向で調整します。ご予定をお願いいたします。</p>
会長	<p>全体をとおして何か説明があればお願いします。</p>
委員	<p>のらざあはまだ 1 年経過していない中で、採算性や市の負担の状況をご説明いただきたいと思います。</p>
事務局	<p>今後は検討会議の中で予算の状況についてご説明をさせていただきたいと思います。次の会議の中でお示ししたいと考えています。よろしく願いいたします。</p>
委員	<p>資料 1 説明についてですが、観光地の送迎について、観光地の送迎を行っていただくと既存のバス路線を維持できなくなってしまうので、どのような考えで行っていくのかお教えいただきたいですし、今後は協議を行っている会議に参加もさせていただきたいと思います。</p>
委員	<p>まだ先程申し上げた内容についても、できたらいいよねという段階でありますので、今後の会議の中でぜひとも参加していただきたいと思います。</p>
委員	<p>うまく共存していければと思いますのでよろしく願いいたします。</p>
会長	<p>それでは事務局にお返しいたします。</p>
事務局	<p>それでは閉会の言葉を副会長からお願いします。</p>

副会長

昨日お伺いした高齢者施設でのらざあっていいよねという声を聞きました。私が会議に参加しているから誉めてくれたのかなと思ったのですが、そのことは知らず、ほめてくれたので大変うれしく思いました。今後は、要望や苦情に対して誠実に答えていく中で、市民の方に受け入れてもらえたらいいなと思います。一方で残念ながら障害を持った方については気軽に使えていないのが現状です。障害者の方も気軽に使えるようになればいいなということで、今後も福祉 21 の部会で議論を進めていきたいと思っています。今後、市民みんなで育てていきたいと思っています。よろしく願いいたします。

以上